

第3回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議「幌延町地域振興（観光）計画」検討会
意見概要

日時：平成28年12月21日（水）18:00～19:30

場所：幌延深地層研究センター国際交流施設

概要：

- ・計画内容は、既存のものを生かす考えでよいと思うが、最終的に“しごと”につながるとよい。
- ・イベント観光については、ひとつ受け皿をまず作って拠点を設けるのが重要だと思う。
- ・拠点については、次の世代の負の遺産にならないよう十分慎重に考えなくてはと思う。
- ・道の駅で乳製品をとという考えはよいと思う。
- ・秘境駅のイベントを地域振興に結びつけるためには、町民も参加した形がよいと思う。
- ・秘境駅で訪れてくれた人達が、ふるさと納税してくれている例もあるのではないか。
- ・トナカイについての幸せのイメージづくり、道新のサンタプロジェクトとの連携などがよい
- ・道の駅は拠点というよりも、町に呼び込む導線のような新たなかたちのものがよいと思う。

ー計画骨子についてー

<各委員からの意見概要>

(委員)

- ・既存のものを生かす考えでよいと思うが、最終的に“しごと”につながるとよいと思う。
 - ・進出を誘致する新しい企業等向けには、町としてどのように発信しているのか。
- 〔町長〕現状の意見の中で何をできるか考えていきたい。ITの発達等もあり企業が進出しなくてもできることが増えている中で、我われができることを鮮明にしていかななくてはと考えています。
- ・wi-fiの整備等は早めに考えていただきたい。

(委員)

- ・観光入込客数12万人とあるが、仕事目的か観光目的かはわかるのか。
- 〔事務局〕北海道で集計している数値で、そこまではわからない。

(委員)

- ・イベント観光については、ひとつ受け皿をまず作って拠点を設けるのが重要だと思う。
- ・道の駅でもただトイレのみではなく、何か買ってもらえる、イベントに立ち寄ってもらうなどが必要と思う。

(委員)

- ・ひとつ拠点を作って、という案について現実的に考える場合、道の駅や温泉があればいいねと

誰もが思うと思うが、次の世代の負の遺産にならないよう十分慎重に考えなくてはと思う。

(オブザーバー)

- ・道の駅は拠点というよりも、町に呼び込む導線のような新たなかたちのものがよいと思う。
- ・道の駅としては、若手が農産品や商品が売れるような場となって、そのような中で、人材育成等の面で町にも関わってほしい。

(委員)

- ・道の駅で乳製品をとという考えはよいと思うが、現状の生産量として可能なのか。
- 〔町長〕 1戸当たりの生産量は増えており現状では36,000 t超が出荷されている。付加価値を付けていくことについては、町としても応援していきたいと考えています。色々と勉強されている農家も増えてきています。

(オブザーバー)

- ・製品化できる乳量はあると思う。牛乳豆腐は初乳のものが喜ばれてはいるが、普通の乳でも作ることができる。現状では製品化するには、保健衛生面で非常に厳しいが、若手農家が研究しており、成果が出ると良いと思う。

(委員)

- ・健康志向の方には水切りヨーグルトが人気らしい。

(オブザーバー)

- ・観光などの取組みは、何気ない話の中から発想が生まれることもあるので、少人数で集まって話してみるとアイデアが生まれる可能性がある。会議のみではなく、そのような場があってもよいのでは。

(委員)

- ・秘境駅のイベントを行うのはいいと思うが、地域振興に結びついていないのではないか。地域振興に結びつけるためには町民も参加した形がよいと思う。
 - ・トナカイについて、頭数を増やすのが難しいようであれば町で飼っているものを増やせないか。
- 〔事務局〕 秘境駅については、町の経済になかなかつながらないかもしれませんが、現状でどの程度の来訪があるか把握に努めています。1000人単位の方が来られていることはわかりましたが、その人達に町の中にも来てもらうためには、商業的な話も必要なので行政のみでは難しく、今後、色々な方と相談していきたいと考えています。
- トナカイについては、今後の拡充・拡大は考えていかななくてはと思いますが、現状では繁殖は難しく病気等のリスクも考えられます。

(委員)

- ・秘境駅で訪れてくれた人達が、ふるさと納税してくれている例もあるのではないか。

→〔事務局〕秘境駅関係だけではありません、今年度、700件程のふるさと納税があります。また、観光大使のファンの方が来町されているケースもあります。

(委員)

- ・宗谷本線を残したいからふるさと納税をしたいという人がいたようだ。町としてそのようなPRはしているのか。
- 〔事務局〕特にそのような取組みはしていませんが、今後は考えていけるのではないかと思います。

(委員)

- ・トナカイについて、幸せのイメージづくりがよいと思う。神社等で願い事が叶うようなしくみを取り入れるとよいのではないか。また、北海道新聞のサンタプロジェクトと連携してもよいのではないか。

(オブザーバー)

- ・計画骨子の内容について、p.3の表タイトルが違っている。また計画期間についてはどのように表現するか。
- 〔事務局〕p.3の表タイトルは間違いです。また計画期間は総合計画との対応を考えて、あえて記載はしていません。※修正：総合戦略の計画期間 ⇒ 総合計画に掲げた目標値

(委員)

- ・トナカイに関連して、サンタがプレゼントを配るような取組みを町で考えてはどうか。
- 〔事務局〕子どもたちからのアイデアにもありましたし、まちの中でもそのような声がありましたので、何らかの形で実現できないか考えたい。

<幌延町の目指す姿について>

(委員長)

- ・幌延町の目指す姿について、資料2-4の内容を次回会議までに各自考えてきてください。

ーその他（事務局より）ー

- ・今後のスケジュールについては、1月中旬に第3回のワークショップを予定しており、そこで委員以外の方にも計画骨子についてご意見をいただきます。
- ・次回第4回の検討会は、1月中に開催を予定しており、その中で計画原案を確定したいと考えています。計画原案が確定した際には、町へ答申を行い、2月中にパブリックコメントを行い、3月上旬に計画を確定させたいと考えています。
- ・北大天塩研究林と幌延町の連携による「幌延町産ワイン樽」製造について（話題提供）。